

貸借対照表(食肉市場事業会計)

食肉市場事業会計は、日常生活に必要な生鮮食料品等（肉類）の供給を行う事業の会計です。

資産の部では、南港市場用地などの「事業用資産」が、資産総額のほぼ全体を占めています。

資産総額は、前年度に比べ建物の減価償却や「短期貸付金」の減などがあるものの、「建設仮勘定」の増により、59百万円増加（[R元]10,455百万円 [R2]10,514百万円）しています。

負債の部では、南港市場開設等のための他会計借入金、負債総額の約9割を占めています。

負債総額は、前年度に比べ令和4年度以降に償還予定の施設整備等に関する「地方債」の増などにより、269百万円増加（[R元]14,299百万円 [R2]14,569百万円）しています。

純資産（資産総額 - 負債総額）は、210百万円減少（[R元]▲3,843百万円 [R2]▲4,054百万円）しています。

令和3年3月31日現在

(単位: 百万円)

①【短期貸付金】
貸付金のうち、令和3年度に償還期限が到来するもの
・増減：貸付金の償還完了に伴う皆減

②【事業用資産】
南港市場用地など
・主な内訳
取得原価 前年度比
土地 8,050百万円 (-)
建物 8,810百万円 (-)
減価償却累計額 ▲6,712百万円 (▲176百万円)
減価償却の割合 76.2% (+2.1ポイント)

③【建設仮勘定】
完成前の固定資産への支出等を仮に計上しておくための勘定科目
・増減：大阪市中央卸売市場南港市場施設整備工事に伴う皆増

【資産の部】	令和2年度	令和元年度	増減額	【負債の部】	令和2年度	令和元年度	増減額
流動資産	-	60	▲60	流動負債	97	116	▲19
現金預金	-	-	-	④地方債	42	59	▲16
未収金	-	-	-	短期借入金	1	1	-
貸倒引当金	-	-	-	⑤賞与引当金	53	55	▲2
基金	-	-	-	未払金	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	還付未済金	-	-	-
①短期貸付金	-	60	▲60	リース債務	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	其他流動負債	-	-	-
其他流動資産	-	-	-	固定負債	14,471	14,182	288
固定資産	10,514	10,395	119	⑥地方債	600	342	257
②事業用資産	10,214	10,394	▲180	⑦長期借入金	13,292	13,294	▲1
インフラ資産	-	-	-	⑧退職手当引当金	578	545	32
重要物品	0	0	▲0	損失補償等引当金	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期未払金	-	-	-
ソフトウェア	-	-	-	リース債務	-	-	-
③建設仮勘定	300	-	300	其他固定負債	-	-	-
出資金	-	-	-	負債合計	14,569	14,299	269
信託受益権	-	-	-	【純資産の部】	令和2年度	令和元年度	増減額
基金	-	-	-	累積余剰	▲4,054	▲3,843	▲210
貸倒引当金	-	-	-	評価・換算差額等	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	純資産合計	▲4,054	▲3,843	▲210
貸倒引当金	-	-	-	負債及び純資産合計	10,514	10,455	59
其他債権	-	-	-				
貸倒引当金	-	-	-				
資産合計	10,514	10,455	59				

④【地方債（流動）】
食肉市場事業における施設整備等に関する地方債うち、令和3年度の償還予定額

⑤【賞与引当金】
令和3年6月支給の期末・勤勉手当の支払見込み額（共済費含む）のうち、貸借対照表日（令和3年3月31日）時点の負担相当額（令和2年度分）

⑥【地方債（固定）】
食肉市場事業における施設整備等に関する地方債のうち、令和4年度以降の償還予定額

⑦【長期借入金】
南港市場開設等のための他会計借入金のうち、令和4年度以降に返済期限が到来するもの

⑧【退職手当引当金】
貸借対照表日（令和3年3月31日）時点に全ての職員が自己都合退職した場合の退職手当支給見込額

【地方債の計上について】
新会計制度では、各会計が地方債の償還のために積み立てた公債償還基金に相当する地方債残高は公債費会計に計上していません。

行政コスト計算書(食肉市場事業会計)

経常的な行政サービス提供コストである経常費用には、市場の運営費や維持管理費などの「物にかかるコスト」、職員の給料などの「人にかかるコスト」があり、これらで経常費用のほぼ全体を占めています。
前年度に比べ「人にかかるコスト」の増があるものの、「物にかかるコスト」の減などにより、232百万円減少（[R元]2,072百万円 [R2]1,840百万円）しています。
経常収益では、一般会計からの繰入金の「他会計からの繰入金」、施設使用料などの「使用料及び手数料」があり、これらで経常収益の約9割を占めています。
前年度に比べ「国・府支出金」や「他会計からの繰入金」の減などにより、115百万円減少（[R元]1,745百万円 [R2]1,629百万円）しています。
経常収支差額は前年度に比べ117百万円増加（[R元]▲327百万円 [R2]▲210百万円）しており、臨時的な損失や利益による特別収支差額が0円のため、当年度収支差額も同額となっています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

①②③【人にかかるコスト】 696百万円（前年度比：+37百万円） 行政サービスを担う職員の定例給与支払額および将来の支出に備えるための引当金を計上するためのコスト ・増減：退職手当引当金繰入額の増などにより、前年度に比べ37百万円増加しています。
④⑤⑥【物にかかるコスト】 1,136百万円（前年度比：▲261百万円） 公共施設の運営費や補修費、建物や工作物の減価償却などのコスト ・増減：施設整備工事に係る委託料の減に伴う物件費の減などにより、前年度に比べ261百万円減少しています。

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【経常費用】	1,840	2,072	▲ 232	【経常収益】	1,629	1,745	▲ 115
①給与関係費	610	626	▲ 16	市税	-	-	-
②賞与引当金繰入額	53	55	▲ 2	地方譲与税	-	-	-
③退職手当引当金繰入額	32	▲ 22	55	交付金	-	-	-
				地方特例交付金	-	-	-
④物件費	944	1,144	▲ 200	地方交付税	-	-	-
⑤維持補修費	11	72	▲ 61	保険料	-	-	-
⑥減価償却費	180	180	-				
支払利息及び手数料	3	4	▲ 0	分担金及び負担金	-	-	-
貸倒損失	-	-	-	⑦使用料及び手数料	461	484	▲ 22
貸倒引当金繰入額	-	-	-	⑧国・府支出金	-	62	▲ 62
損失補償等引当金繰入額	-	-	-	⑨他会計からの繰入金	981	1,011	▲ 30
棚卸資産売却原価	-	-	-	棚卸資産売却収入	-	-	-
扶助費	-	-	-	受取利息及び配当金	0	0	▲ 0
負担金・補助金・交付金等	3	11	▲ 8	その他経常収益	186	185	0
他会計への繰入金	-	-	-				
その他経常費用	-	-	-				
【経常収支差額】					▲ 210	▲ 327	117
【特別損失】	-	-	-	【特別利益】	-	-	-
資産売却損	-	-	-	資産売却益	-	-	-
災害による損失	-	-	-	資産受贈益	-	-	-
貸倒損失	-	-	-				
出資金評価損	-	-	-	事業再編等に伴う移転損益	-	-	-
事業再編等に伴う移転損益	-	-	-	その他特別利益	-	-	-
その他特別損失	-	-	-				
【特別収支差額】					-	-	-
【当年度収支差額】					▲ 210	▲ 327	117

⑦【使用料及び手数料】 使用料及び手数料による収益 ・主な内訳 前年度比 食肉処理場使用料 245百万円（▲3百万円） 面積割使用料 172百万円（▲18百万円） 売上高割使用料 43百万円（▲0百万円） ・増減：面積割使用料及び食肉処理場使用料などの減により、前年度に比べ22百万円減少しています。
⑧【国・府支出金】 国や府からの負担金、補助金などによる収益 ・増減：令和2年度において大阪市中央卸売市場南港市場施設整備事業に係る「国・府支出金」（経常収益）の計上がないことに伴う皆減
⑨【他会計からの繰入金】 一般会計からの繰入金による収益

キャッシュ・フロー計算書(食肉市場事業会計)

市場の運営などに要する支出と施設使用料などの収入との差額である行政サービス活動収支差額は0百万円(900,834円)のプラスとなっており、前年度に比べ「国・府支出金収入」や「他会計からの繰入金収入」の減などがあるものの、「物件費支出」の減などにより、167百万円増加〔R元〕▲167百万円〔R2〕0百万円(900,834円)〕しています。

「固定資産取得支出」の増により、投資活動収支差額は240百万円のマイナスとなっています。

地方債の発行のプラスによって投資活動を行っていることがわかります。

行政サービス活動収支差額0百万円(900,834円)と、投資活動収支差額▲240百万円及び財務活動収支差額239百万円を合わせると、当年度現金預金増減額は0円となっています。

なお、地方債の償還については、その収支を管理する公債費会計への繰出をもって地方債償還金支出としています。

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日 (単位:百万円)

【行政サービス活動によるキャッシュ・フロー】
投資活動及び財務活動以外の取引によるキャッシュ・フローを記載する区分

①【使用料及び手数料収入】
使用料及び手数料による収入
・主な内訳 前年度比
食肉処理場使用料 245百万円 (▲3百万円)
面積割使用料 172百万円 (▲18百万円)
売上高割使用料 43百万円 (▲0百万円)
・増減:面積割使用料及び食肉処理場使用料などの減により、前年度に比べ22百万円減少しています。

②【他会計からの繰入金収入】
一般会計からの繰入金による収入

③【物件費支出】
他の科目に属さない消費的性質の支出
・主な内訳 前年度比
委託料 549百万円 (▲181百万円)
光熱水費 328百万円 (▲22百万円)
・増減:施設整備工事に係る委託料や光熱水費の減などにより、前年度に比べ200百万円減少しています。

	令和2年度	令和元年度	増減額		令和2年度	令和元年度	増減額
【行政サービス活動収入】	1,629	1,745	▲115	【投資活動収入】	60	60	-
市税収入	-	-	-	資産売却収入	-	-	-
地方譲与税収入	-	-	-	基金繰入金(取崩額)	-	-	-
交付金収入	-	-	-	④貸付金回収元金収入	60	60	-
地方特例交付金収入	-	-	-	他会計からの繰入金収入	-	-	-
地方交付税収入	-	-	-	保証金等返還収入	-	-	-
保険料収入	-	-	-	その他投資活動収入	-	-	-
分担金及び負担金収入	-	-	-				
①使用料及び手数料収入	461	484	▲22	【投資活動支出】	300	-	300
国・府支出金収入	-	62	▲62	⑤固定資産取得支出	300	-	300
②他会計からの繰入金収入	981	1,011	▲30	基金積立金	-	-	-
棚卸資産売却収入	-	-	-	出資金支出	-	-	-
受取利息及び配当金収入	0	0	▲0	貸付金支出	-	-	-
その他行政収入	186	185	0	他会計への繰出金支出	-	-	-
				保証金等支出	-	-	-
【行政サービス活動支出】	1,628	1,912	▲283	【投資活動収支差額】	▲240	60	▲300
給与関係費支出	666	679	▲13	【財務活動収入】	300	167	133
③物件費支出	944	1,144	▲200	⑥地方債収入	300	167	133
維持補修費支出	11	72	▲61	借入金収入	-	-	-
支払利息及び手数料支出	3	4	▲0	他会計からの繰入金収入	-	-	-
扶助費支出	-	-	-	その他財務活動収入	-	-	-
負担金・補助金 ・交付金等支出	3	11	▲8	【財務活動支出】	60	59	0
他会計への繰出金支出	-	-	-	地方債償還金支出	59	58	0
その他行政支出	-	-	-	借入金償還金支出	1	1	-
【行政サービス活動収支差額】	0	▲167	167	リース債務償還金支出	-	-	-
【当年度現金預金増減額】	-	-	-	他会計への繰出金支出	-	-	-
				その他財務活動支出	-	-	-
				【財務活動収支差額】	239	107	132

【投資活動によるキャッシュ・フロー】
固定資産の取得及び売却、金融資産の取得及び売却等によるキャッシュ・フローを記載する区分

④【貸付金回収元金収入】
貸付金を回収したことによる収入
・内訳 前年度比
大阪市食肉市場株式会社貸付金 60百万円 (-)

⑤【固定資産取得支出】
固定資産の取得に関する支出
・内訳 前年度比
大阪市中央卸売市場南港市場施設整備工事 300百万円 (皆増)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】
資金の調達及び返済によるキャッシュ・フローを記載する区分

⑥【地方債収入】
地方債の発行による収入
・増減:地方債の発行により、前年度と比べ133百万円増加しています。